

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 総務-05 市境界整備事業				ザイムスコード及び個別事業名		
					595	市境界整備事業	
主管課	総務課		関連課				
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	市境界の整備を促進する (市境界整備率95%)						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人口	176,669人	176,484人				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	397千円	0千円				
	(国・県)			指標と評価			
	(負担金等)	198千円		指標	市境界整備率		
	(一般財源)	199千円	0千円	評価	○		
	人員配置数	0.5人	0.5人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	4,583千円	4,524千円		目標値	実績値	
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	4,980千円	4,524千円	20年度	90.00%	83.10%	
	市民1人当 りの経費	28円	26円	21年度	90.00%	83.10%	
	対象者1人 当りの経費			22年度	85.00%		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	90.00%		
				最終年度 (年度)	95.00%		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 横浜市及び藤沢市との市境界については、行政が費用を分担する共同事業により、それぞれ約90%の市境界が確定しており、残る未確定の箇所は、地権者の了解が得られないなどの理由で確定していない箇所、共同事業としては一応終了している。 逗子市との市境界は約30%しか市境界が確定していないため、逗子市と協調して計画的に共同事業を実施していく必要がある。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 平成17年度に、逗子市と鎌倉市で費用を分担する市境界整備共同事業を初めて実施したが、平成18年度以降は逗子市の財政事情により見送られた。その後、逗子市に対して継続的に働きかけてきた結果、平成21年度は逗子市の予算措置がされたため再び共同事業を実施することができた。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 地権者の了解が得られない未確定箇所については、了解が得られるまで市境界の確定が出来ない。 逗子市との市境界整備率は横浜市、藤沢市とのそれと比べて大幅に低いので、今後も逗子市と協調して共同事業を計画的に進めていく必要がある。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 横浜市、藤沢市との市境界が未確定な箇所について、土地所有者等に市境界を確定する必要が生じた場合は、受益者である土地所有者等の費用負担による申請事業として市境界を確定していく。 逗子市との市境界については、両市で協調して共同事業の実施を進めていくが、これとは別に土地所有者等に市境界を確定する必要が生じたときは、受益者である土地所有者等の費用負担により市境界確認作業を行なうことになる。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	横浜市と藤沢市の市境界については、約90%が確定しており、残る箇所は必要が生じた時点で受益者負担の申請事業で対応する。 逗子市との共同事業については、継続的に実施していく。		評価結果	改善の必要性	共同事業で市境界確定ができなかった箇所については、必要が生じた時点で受益者負担の申請事業で対応する。 逗子市との共同事業については、計画的に進めていく。	
B	無			B	無		
課長名		内藤 昭二		部名・部長名		総務部・小村 亮一	